広報 さめがわ
平成5年
12
No.480

さめがわ健康の道オープン

十一月十四日、テープカットの後、二〇〇人が参加して健康歩こう大会が行われクイズなども楽しみました。



発行／編集　鮫川村総務課　〒978-04 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39の5　TEL(0247)49-3111
印刷／佐藤印刷所



鮫中生
鮫高生は
鮫川村が
大好き！





鮫川中学校は、平成四・五年度に、文部省の生徒指導総合推進校の指定を受け、「自分で考え、判断し、実行する活動」を実践しました。

地域とふれあいながら社会性を養う「ふるさとの時間」では、生徒自らが社会の一員として地域に役立つ活動、奉仕活動を展開してきました。

ふるさとの時間は、生徒たちの豊富なアイディアを基に、郷土の学習、老人との交流、幼稚園訪問、スクールバス清掃、道路・河川の清掃、看板作り、公共物の清掃、ごみ拾い、巣箱とえさ台作り、ペーパーフラワー作りの十グループに分かれ、生徒自身が希望する活動に参加しました。

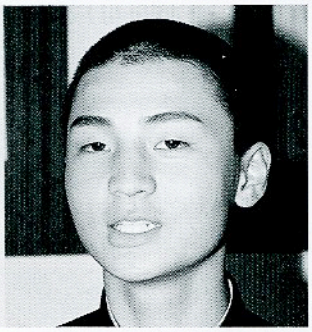
老人との交流では、お年寄りを学校に招いて、校庭でゲートボールを楽しみ、幼稚園訪問では、手作りの紙芝居を園児たちにみせ、〝花いちもんめ〟などのなつかしい遊びをしました。

このような活動の内容が、十一月五日鮫川中学校で行われた研究公開発表会で発表されました。

地域に根ざした活動をとおして、生徒たちが、鮫川中の伝統や村の将来について、自分たちに何ができるかを考えるよい機会になりました。



中学生・高校生は今



鮫中三年　静　剛盛

僕は今、広大で美しい自然に囲まれた素晴らしい環境の鮫川中学校に通学しています。この学校に来て非常に驚いたことがあります。それは鮫中生が自然に対してすごく関心を持っているということです。特に地域の役にたつふるさとの時間は、ゴミ拾いや河川清掃などをしてこの美しい自然を守っていくうえで非常に役にたっています。

僕は、この素晴らしい学校がある鮫川村の一員として、どうしたら鮫川村がよりよくなっていくか考えていきたいと思います。



鮫中一年　青木　珠美

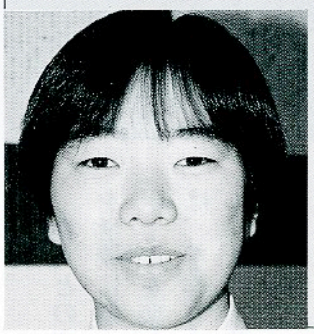
まもなく21世紀を迎えますが、皆さんは鮫川村の未来をどう考えていますか。私が一番考えていることは、将来鮫川村が東京都のようになってしまうのだろうかということです。私は、以前東京に住んでいたことがあるのですが、今東京都のことを考えてみると恐ろしいことばかりが思い出されます。

私は、鮫川村の緑を未来に残していきたいです。そのためにも、もっと鮫川村を見直していきたいと思います。

一人ひとりが鮫川村の緑を大切に守っていかなければならないと思います。

鮫川の人たちは心温かく、鮫川村にしかない感じがします。それはずっと変わらないでいてほしいと思います。

私のふるさとはここ鮫川村ではないけれど、第二のふるさととしてまたいつか帰ってきたいと思います。



鮫中三年　斎藤　幸絵

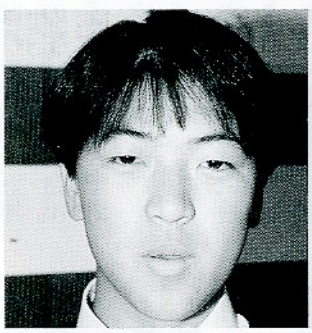


鮫中一年　須藤　嘉範

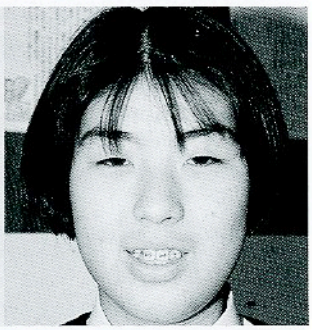
僕は、この鮫川村に生れてとても良かったと思います。小さい頃はなんでこんな田舎に生まれたのかと思ったこと

今の鮫川村はとても良い環境の村だと思います。不自由な面もありますが、緑が豊かだからこそ鮫川村というイメージが強いのだと思います。はっきり言えば田舎ですが、緑はとても大切だと思います。

大人になって、もし自然のない町に住んだとしたら、いつかは鮫川に帰ってきたいと思う人がいるはずです。でも帰ってきたときにその自然がなくなっていたらみなさんはどう思いますか。私はそんなことになってほしくないので、今からでもできる小さなことを少しずつでもやっていけたらと思います。例えば道にゴミを捨てないとか。自分たちのふるさとということを、みんなにも、もっと意識してほしいです。



鮫中三年　金沢　暁恵



鮫中二年　森　直美

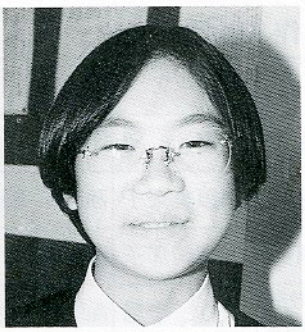
より良い村をつくるには、人間がいなければどんな美しい環境の中でも良い村はできないと思います。だから、未来の鮫川村を背負っていくのは私たちではないでしょうか。

今、私たちという言葉を使いましたが、村を動かす同世代の基となるのは、中学校卒業の時の同級生だと思います。そのためにも今この中学校で学んでいることが、未来の鮫川村をつくる第一歩だと思います。

私はこのような心構えでこれからもいろいろなことに取り組んで行きたいと思います。

村の活性化はまず人づくりだと思います。いくら鮫川に美しい自然があるといっても、村民の温かい心がなければ村

中学生、高校生は、鮫川村をどう思っているのでしょう。研究公開発表会で行われた討論会の意見を掲載します。



鮫中二年　溝井　明美

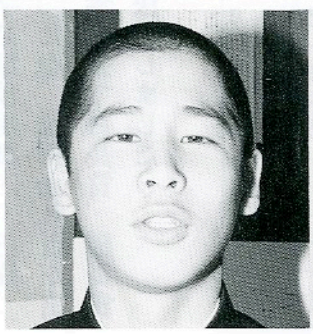
私は鮫川村が大好きです。この自然豊かな鮫川村を見直してみましょう。村の人たちは素朴で心やさしい人ばかりです。そしていろいろな活動をしています。私たちも何かをしなければならないと思います。私はみんなが見逃している部分を探して、村について考えたいと思います。



鮫高二年　佐川　文子

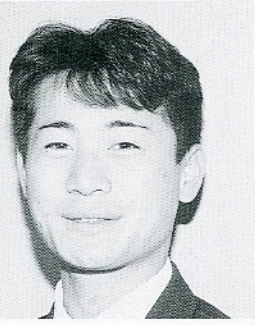
私が気になることは、若い人たちがこの村から出て行ってしまって一人暮らしのお年寄りが多いことです。私一人の力では何もできないと思いますが、村に残って福祉活動をやろうと思っています。

美しい自然と村の人たちの温かい心があるからこそ私はこの村を離れられません。お年寄りとの親睦を深め、鮫川村を発展させる一人になりたいと思っています。



「井の中のかわず」ということばを知っていますか。井戸の中の蛙は井戸の中しか知らないという意味です。今、過疎化が問題になっていますが、僕は井戸の中の蛙にはなりたくないので、この鮫川村を一歩出て社会をみてきたいと、現在思っています。

鮫中三年　阿久津　勝



もありますが、この雄大な自然を実感できるのも、鮫川村だからこそだと思います。

今、自然破壊が問題になっています。その自然破壊をこの美しい村に広げないためにも、僕たち一人ひとりが頑張らなければならないと思います。

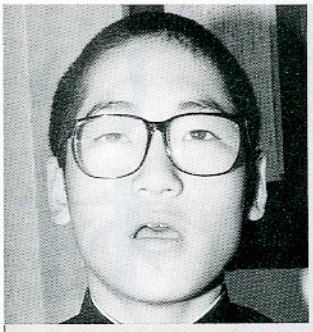
鮫高二年　根本　克美

私たちの鮫高では、生徒一人ひとりがゴミ袋を持って、鮫川村をよりいっそう美しい村にしようとクリーン運動を展開しています。この運動を鮫高だけのものではなく、村民総参加による美化クリーン運動として鮫川村全体のものに発展させたり、環境問題に関する公開シンポジウムを開催するなどにより、具体的な模索が必要だと痛感しています。



鮫高三年　鈴木　順子

クラスメートの進路はほとんど決まり、就職するために村を離れる人が多いのが現状です。それは村内に自分の希望する仕事がないからです。もし希望する仕事があったならば、住み馴れた美しい村を離れようとは思わなかったと思います。私は来年鮫川村を離れますが、いずれこの緑豊かな美しい自然に包まれた鮫川村に必ず戻ってきたいと思っています。



鮫中三年　工藤　貴仁

僕は、この鮫川村が大好きです。山の緑も川の水もすべて輝いています。僕はこの鮫川村に生まれてとても良かったと思います。

しかし、僕達にはまだ将来性があります。だからこそ福島県、福島県だけでなく日本、日本だけじゃなく世界へと僕は視野を広げていきたいと思います。



はよくなりません。

今年鮫川に着任した先生に聞いた話ですが、玄関先にほうれん草などをおいてくれる親切な人がいるそうです。都会のマンション生活ではとても考えられないことだと思います。鮫川村の一番の財産であるこういった温かい心を村民一人ひとりが持ち続けていかなければならないと思います。僕は鮫川村の一村民であることに誇りをもっています。

鮫高一年　森田　浩巳

僕・私の住みたい村

未来の鮫川村

〝僕の住んでる村は、将来どうなるの？、〟〝わたしは、こういう村に住みたいなあ〟と思ったことをテーマに、村内の小学校四年生から高校生までを対象に、作文と絵画を募集しました。

作品は、作文が四〇〇字詰原稿用紙二～三枚、絵画が水彩画で、作文一〇九点、絵画九九点が出品され、十一月十二日の審査会で村長賞、議長賞教育委員会賞等二〇点が決定しました。

作文絵画コンクール入賞者一覧

	作文の部		絵画の部	
村長賞	杣田　望	鮫中1年	生田目宏好	鮫中1年
議長賞	関根美奈子	西山6年	緑川奈津子	鮫中1年
教育委員会賞	本郷美那子	西山6年	進士　尊主	鮫小4年
東白川郡校長会鮫川班長賞	大竹　幸恵	西山6年	村上　達哉	鮫中1年
金賞	須藤　令子	鮫中3年	須藤　早紀	鮫中1年
銀賞	蛭田由加理	渡瀬5年	金澤　智恵	鮫小6年
	石井　洋平	鮫中3年	芳賀　巴	鮫中1年
佳作	小林　美香	鮫中2年	金澤かおり	鮫中1年
	矢吹　千春	鮫中3年	芳賀　咲子	鮫中1年
	蛭田　恵	鮫中3年	岡部　幸枝	鮫中1年



作文の部　村長賞

杣田　望さん

（鮫川中一年）

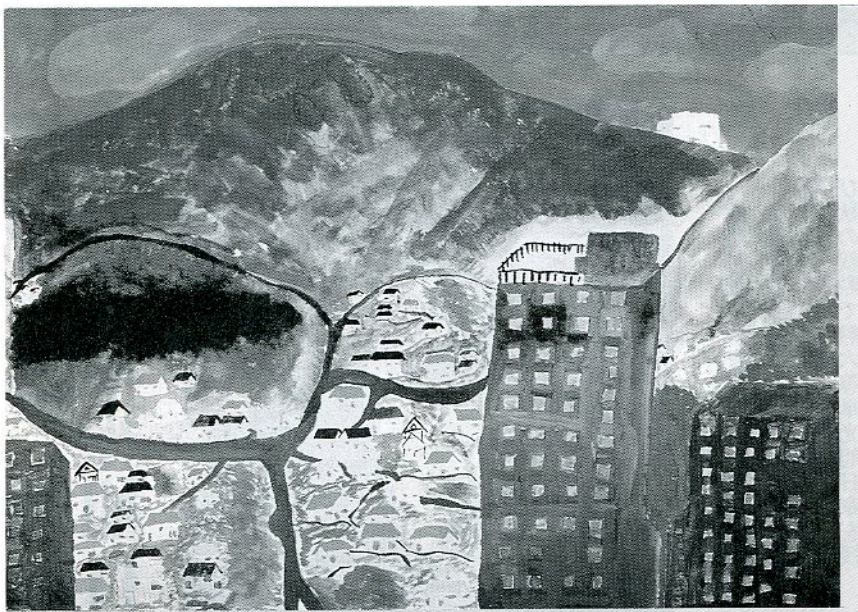
僕は、「将来このような村に住みたい。」と思っていることが大きくまとめて四つあります。僕は、今住んでいるこの鮫川村でもけっこう満足していますが、もっとよい村に住みたいという気持ちもあります。

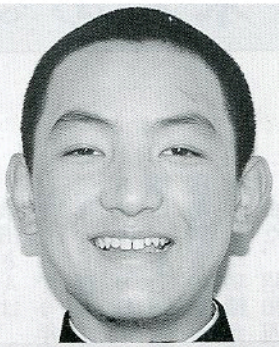
一つ目は、「みんなが安心してくらせる村」になってほしいということです。大きな病院が建ち、病人が安心して入院できる所や、犯罪を防ぐ警察署、大きな消防署などが建って村民が安全に、安心してくらせるような村になってほしいと思います。

二つ目は、「いろいろな面で便利な村」になってほしいということです。今のところこの鮫川村には、高速道路や電車、新幹線などの交通機関がありません。この内、電車（水郡線）ぐらいは、村内を通ってほしいです。電車が通るようになれば、車がない人や車を運転できない人でも、まわりの町や市に手軽に行くことができるし、また反対にほかの町や市からも鮫川村に来ることができて便利だと思います。買物の時も、わざわざ遠くのスーパーまで買い物に行かなくても村内でいろいろな物がそろうような所を作ってほしいと思います。その他便利にするためには、たくさんの設備が必要だと思います。

三つ目は、「ごみの少ないきれいな村」になってほしいということです。いくら、まわりが便利になったって、ごみが多くては、あまりよいとは言えません。今、この鮫川村内でも道路のあちらこちらにごみがポイすてしてあり、なんだかいやな感じがします。

このままで行ったら、あと何十年かで、この鮫川村いや、日本がごみでうまってしまいます。これからは、一人ひとりが気をつけて、ごみをすてないようにして、この美しい鮫川村や日本を汚さないようにしていってほしいです。





絵画の部　村長賞

生田目宏好さん

（鮫川中一年）

鮫川村をもっと知ろう

ふるさと歴史ハイキング



豊かな自然にふれながら、村内の代表的な文化遺産を巡り、祖先が築いた文化・足跡を訪ねてふるさと鮫川村について考え、文化財の大切さに理解を深めてもらうため、十一月十三日小・中学生と保護者を対象に「ふるさと歴史ハイキング」が行われました。

強滝遊歩道（ふくしま緑の百景）、折戸追分石（村指定文化財）、熊野神社（有形文化財・建造物）、富田薬師堂（村指定有形文化財）、薬師如来立像（県指定重要文化財）、金剛力士像（県指定重要文化財）鹿角平の草原（ふくしま緑の百景）、世々麦六地蔵（史跡・石蔵文化財）、渡瀬村救荒修祭記碑（村指定史跡）、赤坂家長屋門（村指定有形文化財）、江竜田の滝（ふくしま緑の百景）を、村文化財保護審議会委員の関根一好さんの説明で巡りました。

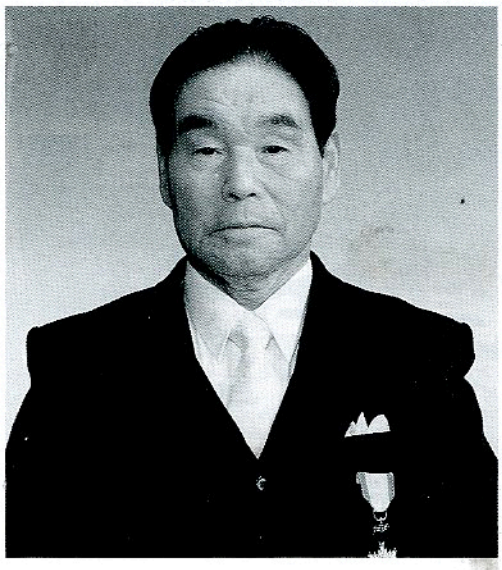
また、村内には、「鮫川」と「渡瀬川」の二つの川が流れています。やはりこの川にもあちらこちらでごみがおちているのが目に付きます。釣り人がおとした針や糸で、川がだんだんよごれています。いつまでも、ヤマメ、イワナが住める川であってほしいと思います。

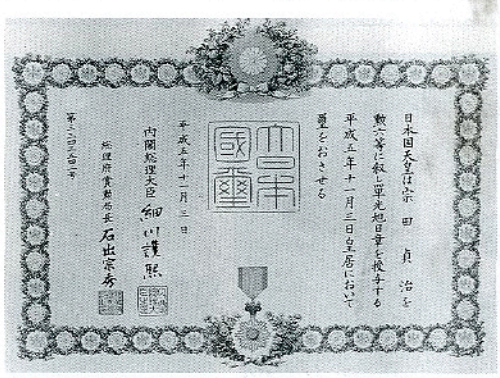
最後は、「人口が多く若い人も多い村」になってほしいということです。この鮫川村の人口はだんだん少なくなっています。それに、高齢化が進んで、若い人が少なくなっています。若い人をこの村に集めるには、僕が、「将来このような村に住みたい」と思っていることの四つができれば、きっとよい村になっていくと思います。

これからもみんなで、この四つのことが本当に実現するように、がんばって、住みやすくて、美しい、よい村をつくっていきたいです。そして僕たちが大人になったとき、この四つのことが本当に実現してほしいと思います。

栄えある受賞おめでとうございます

宗田貞治氏 勲六等単光旭日章を受章





鮫川村統計調査員の宗田貞治さん（大字赤坂東野字内ケ竜）は、長年統計調査に従事されており、このたび秋の叙勲で勲六等単光旭日章を授与される光栄に浴されました。

宗田さんは、大正九年三月二十五日生まれで今年七十三歳、昭和二十二年から現在までの四十六年間の長きにわたり統計調査員に在職され、特に、第七回国勢調査から第十五回国勢調査の通算九回にわたる職責を全うした功績が認められたものです。

また、昭和四十八年から現在まで鮫川村統計調査員協議会の会長として、豊富な知識と経験をもつ中枢的存在となり、協議会の円滑な運営や後輩調査員の指導に尽力され、広く統計調査に貢献されています。

十一月十五日勲章伝達式が行われ、続いて皇居において天皇陛下の拝謁を受け、感激を新たにされました。

村と村統計調査員協議会では、この栄誉を称えるため、十二月二十三日に村山村開発センターにおいて、叙勲祝賀会を開催することにしています。

高野一巳さん・遠藤稲穂さん 新白河地区納税貯蓄組合連合会長表彰





十一月十一日、白河税務署で平成五年度納税表彰式が行われました。

この席上、高野一巳さん（西山字発地岡）、遠藤稲穂さん（赤坂東野字滝ノ下）が、村税継続完納の推進に大きく貢献された功績が認められ、新白河地区納税貯蓄組合連合会長表彰を受賞されました。

長井久男さんに 交通栄誉章



このたび長井久男さん（大字渡瀬字青生野）は、長年にわたり交通安全のため尽力され、交通事故防止に貢献された功績が認められ、全日本交通安全協会長から交通栄誉章緑十字銅章が贈られました。

長井さんは、現在交通安全協会鮫川支部副支部長として活躍されています。

鮫川村土地改良区理事長
関根　仁さん　再任



鮫川村土地改良区役員の任期満了により総代会が行われ理事長に関根仁さん（大字西山字水口）が再任され、また、次の方々が役員に決まりました。

任期は十一月一日から四年間で、村の土地改良事業の推進などにあたられます。

（敬称略）

◇理事長　関根　仁
◇副理事長（会計担当）　前田武久
◇理事（換地担当）金沢省道
理事（工事担当）蛭田栄次
理事（評価担当）船木彦助
◇監事　長井進一
監事　増子久美

土地改良区総代決まる

また、任期満了による鮫川村土地改良区総代選挙が十一月十二日行われ、次の三十人の方々が無投票で当選されました。任期は、平成五年十一月十五日から四年間です。

吉田一郎	上野町
鈴木武	大石草
羽田義美	内ケ竜
阿久津甲子男	折戸
松崎健一	岩野草
中川西吉正	石井草
鈴木作衛	巌ノ木田
須藤光夫	鍬戸草
三瓶富士夫	西野内
松本定吉	中沢
生田目富男	北中ノ町
大平博明	越虫
藤田美喜男	越虫
國井善郎	木之根
津田光雄	鬼越
圓谷菊重	二反田
大平忠一	新宿
鈴木市悠	青生野
岡部照夫	青生野
山形貞三	青生野
長井太一	上
高坂憲二	石ノ花
舟木誠也	赤柴
関根昭八	大塩
矢吹博	真坂
矢吹友一	酒垂
石井豊	大久保
生田目保男	虹ケ沢
石井定己	前沼
岡部達男	

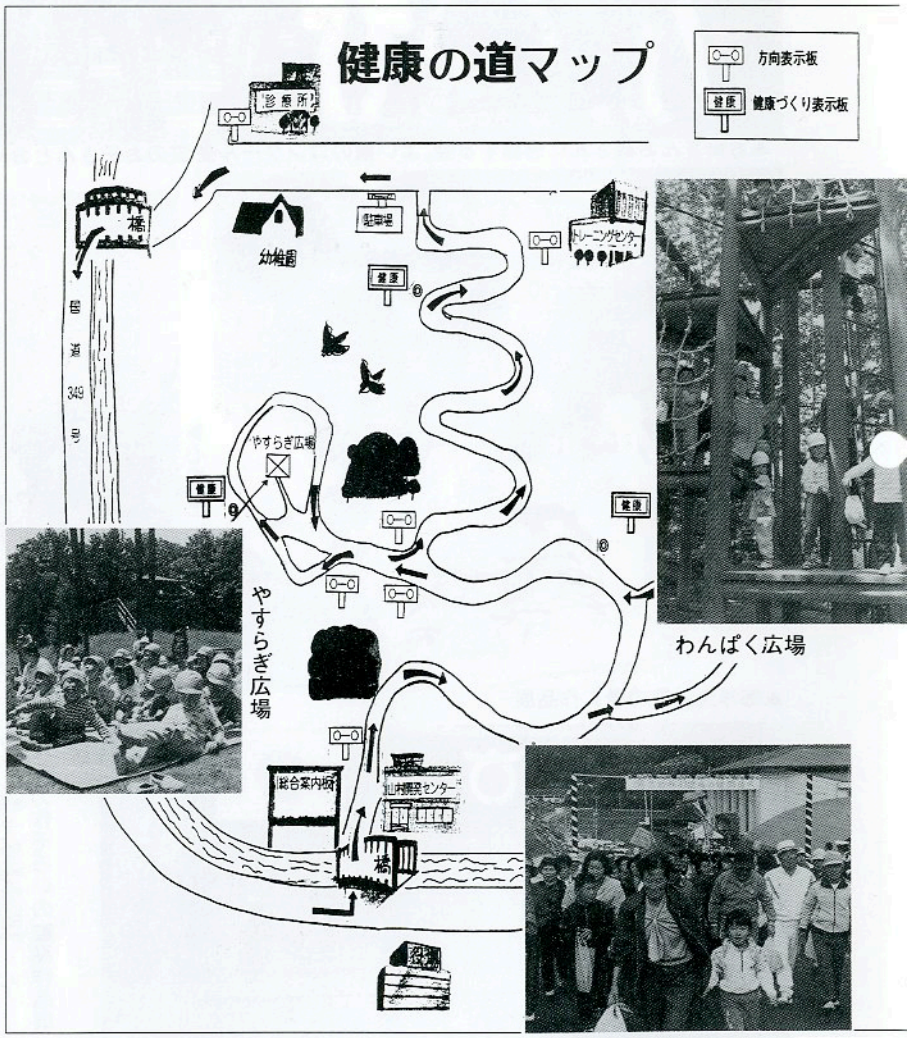
歩いて健康づくり

人生八十年時代を迎え、車社会の到来により、歩くことの少なくなった現代人が、心身ともに健やかに過ごしていくうえで、日常生活の中に運動を取り入れ、習慣化していくことが大切です。

「健康の道」の設定は、運動の中でも最も基本的な「歩くこと」を奨励し、自発的に健康づくりを実践していただくための事業です。

役場前の館山橋から館山公園を登り農業者トレーニングセンターを経て、幼稚園前を通り壇ノ岡橋を渡り、館山橋にゴールする全長二・一kmです。館山公園内には、アスレチック等の施設があるわんぱく広場、みどりの芝生と四季折々の花が咲き乱れるやすらぎ広場があり、森林に囲まれた静かなコースは心にやすらぎを与えてくれます。

健康の道オープン



第46回
鮫川村文化祭フォト

第46回鮫川村文化祭の集中行事は、11月13日から15日まで行われ、健康まつり、お母さんお嫁さんに感謝する会が農業者トレーニングセンターで開かれました。また山村開発センターでは、小・中学生児童生徒作品展、老人作品展、各種作品などが展示され、参観者を楽しませました。

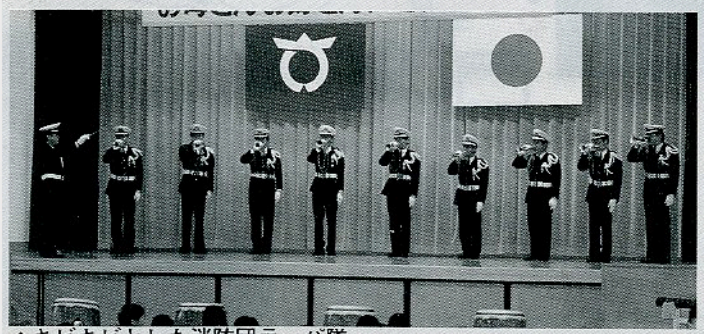


お母さんありがとうと感謝の作文を朗読する鈴木拓馬君(鮫中2年)と岡部麻美さん(鮫小6年)


▲お母さんお嫁さんに感謝する会、よい歯のコンクール受賞のお子さんとお母さん


▲毎年大人気の老人作品展


▶心をなごませる華道展


▲キビキビとした消防団ラッパ隊



▶力作ぞろいの鮫高作品展



▲鮫川小学校５年生による合奏に会場から大きな拍手がおくられました。



▶作家高森和子さんの講演「母の言い分老いの言い分」



▲お母さんお嫁さんに感謝する会で健康家庭、保健活動、ボランティア活動、環境整備に尽力された方々が表彰されました



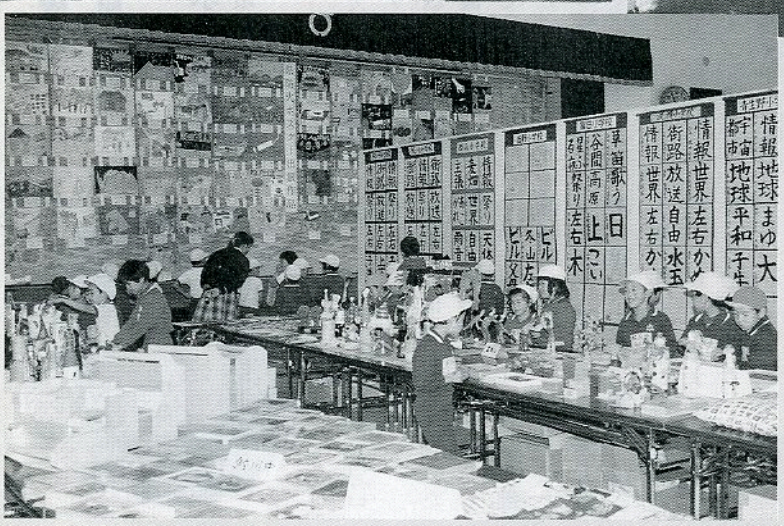
▶11月10日に行われた共進会で堀川重子さん（青生野）飼育の「ひさまつ号」がグランドチャンピオンに

▼保健推進員さん等の愛情のこもった料理は毎年大好評





▲入場者を魅了した強滝太鼓



▲小中学校児童生徒作品展



▶見事な出来栄えの陶芸展

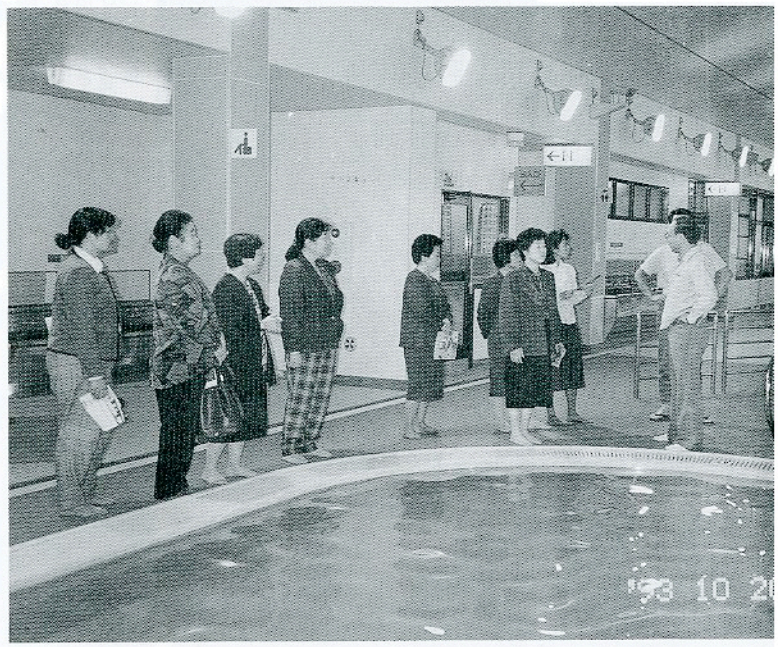
保健婦です

こんにちは

自分の健康は自分で守る

食生活改善講座

「自分の健康は自分で守る。」という健康づくりを推進するために、村ではボランティア活動を希望され、食生活に関心のある方を対象に「食生活改善講座」を開催しています。第二回目は視察研修と食生活改善推進員交流会のため、大越町と古殿町にいってきました。町が保健、医療、福祉の一体化に力を入れ、保健衛生サービスはいきとどいていると自負する大越町、古殿町でした。町ぐるみの健康づくり体制、素晴らしいと、感心して帰ってきました。



家族の健康は食卓から

水野　洋子
（赤坂東野字広畑）

「自分の健康は自分で守る」というキャッチフレーズに誘われて食生活改善講座に参加して、大越町健康管理センターを視察研修しました。

研修で感じたことは、町に栄養士がいて、保健衛生には自信を持って住民へのサービスを行っていることに非常に感銘を受け、魅力を感じました。また、食生活改善推進員が五名なのに活動内容が充実していることも立派だと思いました。

私たちは今、歩きはじめたばかりなので、これからいろいろと勉強して、自分の健康は自分で守り、地域の人たちへ伝達して、みんなが食生活に感心を持ち、健康で明るい村にするために少しでもお手伝いができるよう、頑張りたいと思います。



健康管理センターを見学して

藤田　初枝
（赤坂西野字本坂）



私は、「楽しい日常生活を送るためには第一に健康である」ことであると思います。

今回の住民参画による「ふれあいのある健康づくり」の目的の中に「栄養、運動、休養」のバランスのとれた生活習慣の確立とありますが、それに1歩でも近づくことを希い、勉強してみたいと思いました。ひとり暮らしの老人が増え、老人だけの家庭が増えていく現実に、自分の健康は自分で守らなければならないと痛切に感じます。

今回、健康管理センターを見学させていただいて、その施設のすばらしさにおどろき「生活、健康、医療」とバランスのとれた管理指導がなされていることに、わが村にも是非ほしいものと思いました。私達の日常生活の一助として健康管理を図ってくれるところがあれば、なお安心の度合が増すものと思いました。

出前家庭教育学級のすすめ



十一月十日、第一回鮫川村企業内家庭教育学級が開催されました。

今回は赤坂東野字広畑に本社のある鮫川ハーネスで実施しましたが、この企業内家庭教育学級は、企業に勤務する勤労者に対し、少しでも学習できる機会を提供する目的で実施している事業です。

塙町立図書館長の近藤ヤエ先生を講師に迎え、正午から一時間、「家庭教育」についての講話を聞きました。

昼休みの貴重な時間、従業員の皆さんには昼食を食べながら講話を聞いていただきましたが、子育ての視点として子供の発達の適時期を考えた「しつけ」の基本と、親は子供を信頼して「待つ」ことの大切さを近藤先生は強調していました。

また、小さい頃から本に親しむことが心を育てることにつながり、優しさと思いやりのある子に育つ意味からも、読書習慣の大切さを従業員の皆さんは真剣に耳を傾けていました。

史・資料を探る　村史編さん室

渡瀬村救荒修祭記　現代語釈文(1)



村指定文化財「救荒修祭記碑」は大字渡瀬木ノ根の地に区有として手厚く保存されている。

三〇㌢×二五〇㌢×七五㌢の碑四面に刻まれた本文百九十七文字、外二十五文字は水戸藩の学者立原萬の撰文並びに書によるものである。

天明の大飢饉に際して餓死した人々の骨を収集供養すると共に後世への救荒の教諭が朗すべき明文体で記されているもの、漢語と文字がむずかしくなかなか文意にわたっての解読がむずかしい。

建碑は寛政三年、天明の飢饉後八年、今から二百二年以前漢字を主とした学者の成文であるから、難度の高いことは当然と言わねばならない。

今年はそれに次ぐべき凶作となった。二百年前の先人の教諭もまた心に滲むことであろうと考え現代語釈文として多くの皆さんに読んでいただきたく思う次第である。

釈　文

天明三年、この年の秋は長雨が災いして各地とも広く飢えに苦しむ事態となった。ここ陸奥の国白川郡渡瀬村は棚倉より東三里にあり、高冷の上やせ地である。戸数は百五十戸余り、この年の田の収穫は米百六十余り、平年作の十分の一にしか過ぎなかった。このため代官所においては年貢上納を免じ粟を支給した。それでも村民多くの者が村を離れてさまよい、村内には餓死したものの骸が野に転がっていた。戸数も五分の一に激減、耕作も及ばず田も畑も荒れ果て、鹿が群をなして横行するというありさまであった。

このような惨憺たる状況の中生きのびることのできた村民が、力を合わせ困窮者に救いをほどこし荒廃の復興につとめ立ち直ることができた。

かくして十年を経た寛政三年は大豊作に恵まれることができたので、長老合議の上、死者の骸を収集しその骨を埋め、僧を招いて供養を行った。

（以下次号）




お知らせ

役場　☎49－3111
鮫川村大字赤坂中野字新宿39－5

広報にあなたの写真が出ていたらご連絡ください。さしあげます。

援護、恩給業務巡回相談会

戦傷病者、戦没者遺族等に対する援護対策は、これまで各援護法や恩給法等により進められてきましたが、その内容は複雑で広範囲にわたっていることから、受給もれ等を防ぐために巡回相談会が次により開かれます。

◆相談対象者
- 本人または遺族
- 戦没者の遺族
- 戦傷病者手帳所持者

◆相談内容
- 障害年金に関すること
- 遺族年金、弔慰金に関すること
- 特別弔慰金、戦没者等の妻に対する特別給付金等に関すること
- 普通恩給、一時恩給、一時金及び扶助料に関すること
- 軍歴を有する者で、外国政府、外国特殊法人、外国特殊機関等の勤務に関すること
- 療養給付、補装具交付、ＪＲ乗車券、各種減免等に関すること
- 強制抑留中死亡者に関すること
- 恩給欠格者に関すること
- 引揚者に関すること

◆相談会の日時
平成６年２月２日（水）
午前10時～午後３時

◆相談会の場所
福島県白河合同庁舎
３階第３会議室

※出席者は、相談内容に関する資料を持参してください。

赤い羽根募金

歳末たすけあい募金

ご協力ありがとうございました

平成五年度の赤い羽根募金と歳末たすけあい募金を実施しましたところ、皆さんからの温かいご協力をいただき、目標を上回ることができました。心から御礼申し上げます。

募金額並びに使途は次のとおりです。

募金目標額
九〇〇、〇〇〇円

募金実績額
一、〇四〇、九三五円

内訳
行政区　九〇二、四二〇円
職域　一三八、五一五円

使途
◎共同募金　七六〇、九三五円
◎堀川愛生園後援会募金　六〇、〇〇〇円
◎歳末たすけあい募金　二二〇、〇〇〇円

共同募金は、県内市町村の福祉事業等へ、歳末たすけあい募金は、村内の要保護世帯と長期入院者、各施設の入所者に越年見舞金として十二月中に差し上げることにしています。

法定調書の提出は一月三十一日まで

給料、報酬、不動産の使用料などの支払者は、その支払先ごとに支払金額や源泉徴収税額などを記載した書類（法定調書）を税務署に提出することになっています。

今年の法定調書は、一年間の支払い分を取りまとめて平成六年一月三十一日までに提出することになります。

提出された法定調書は、適正な課税を行うための重要な資料となります。

詳しくは、郡山税務相談室（☎〇二四九－三四－六三〇〇）白河税務署（☎〇二四八－二二－七一一一）におたずねください。

心あたたまる寄附

（社会福祉協議会）

○古殿町竹貫
亀堂院住職　国生　伯芳様
亡母（キク様）の三年忌にあたり　一〇〇、〇〇〇円

○鍬木田　松本克己様
亡父（直春様）の遺志により　五〇、〇〇〇円

○大平　関根　清様
亡父（光雄様）の遺志により　三〇、〇〇〇円

○東京都　江副　彰義様
（官代、前田正則氏宅入居）
第四十六回鮫川村文化祭老人作品出品益金　一〇、二〇〇円

○落合　我妻　久雄様
第四十六回鮫川村文化祭老人作品出品益金　三、一〇〇円

ふくしま駅伝激励会

○鮫川村議会議員一同様

○福島カツ子様（旧姓松崎）
横浜市戸塚区在住（宮沢出身）

Hello エリックです

Hi, everyone!（みなさんこんにちは）

アメリカは日本の20倍以上の国土を持ち、人口は2倍です。そのため、アメリカを単なる1つの国として考えることはとてもむずかしい問題です。アメリカにはとても多くの異なった場所があり、危険な都市もあれば、安全な都市もあります。大農場や山脈、砂漠、プレーリー（大平原）もあります。鮫川のように住みやすい小さな村もあれば、危ない町もあります。

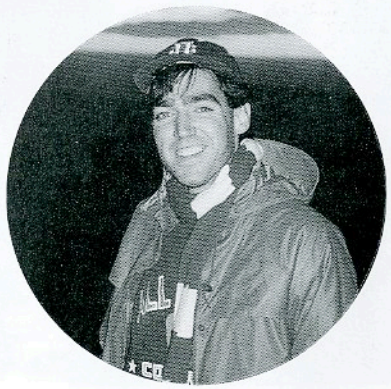
また、アメリカ人は白人、黒人、アジア人インド人、メキシコ人などいろいろな風景と同じように種々さまざまな人々が住んでいます。危険なアメリカ人もいますが、大部分のアメリカ人は、ちょうどみなさんのように親しみやすく、一生けん命に働く人々です。

アメリカの良い面がテレビや新聞で取り上げられない事が残念です。危機や暴力についてのみニュースで聞かされます。アメリカにも美しい面、良い面があるのです。

私はアメリカで行われている多くの殺人事件に関する記事を読むととても悲しく、怒りを覚えます。アメリカはあまりにも多くの銃を持つことを許していると思います。いつかアメリカが日本と同じくらい安全な国になることを願っています。現在のアメリカはひどい所ではありません。私は銃を持っていませんし、一度も襲われたことはありません。アメリカにいる時は注意深くしていますが、アメリカに住んでいて危ないと感じたことは一度もありません。

まだまだアメリカは大人としての国家になるためにしなければならないことがたくさんあります。しかし、だからと言って、アメリカはまだ偉大な国家ではないということを意味するものではありません。

See you next month!　From Eric



文芸



俳句

新宿　斎須　信子
秋あざみ紅ふでほどのやわらかさ

いわき市　金沢　暁舟
谷紅葉矢印が指す登山口

前沼　黒田　寿香
稲わらの煙の匂い光る朝

道少田　山本　朗史
みのりなき稲茫茫と刈られゆく

西山　矢部　正子
事故の跡供華とちいさな鯉幟

二反田　大平　太平
押売りが来ている庭の散紅葉

反田　小山田清哲
赤とんぼ夕日の赤にきえて行く

福島市　中井　恒峯
貸馬は幼児など乗せ秋に入る

大塩　矢吹　呂孝
冬至芽へ木の葉かぶせて春を待つ

横座　矢吹　茂
初霜やふっとただよう茶の香り

短歌

道少田　山本五十鈴
松が枝に懸る特大級の月

押目　北條素人坂
落葉を迎え刈らざる稲田見ゆ

官代　前田　栄美
古稀半ば二十人のクラス会伴呂なくせしは半数となりぬ

岫長　北條　平
大根の土寄せている鍬の柄にトンボ止りてしばしを憩う

棚橋　関根　一好
落葉踏み茸探して山深く竜胆一花咲くに捉わる

中野町　赤坂　朝子
杳き日の日記手さげに入れてゆくこの地に住みて五十余年はや

田苗下　蛭田　正
救荒の碑のある村の秋寂びて稔らぬ稲穂風がそよがす

名下　須藤美代子
ほのぼのとホテルの窓の白みきて雪を被りし那須山せまる

楢久保　森　芳子
茎太く少しの風雨にもくじけない秋明菊をアキツがゆらす

酒垂　石井　カヤ
秋立つも実らぬ稲田青立つを日々にながめて心しずめり

道少田　関根　京子
住み慣れし村を離るるその日には心静かに礼を言いたき

青生野　吉成　タカ
実りなき稲田に佇ちてしみじみと神無月の日が侘しくなりぬ

田苗下　蛭田　浩市
昔よりの蒟蒻作りを止めし畑雑草に代わるこれも政策か

大石草　鈴木イミ子
「もったいない」が死語となりし今の世に冷夏は天の警鐘とも思う

越虫　星　武
来客の疎らな昼のスーパーに野菜の香り鼻に泌み入る

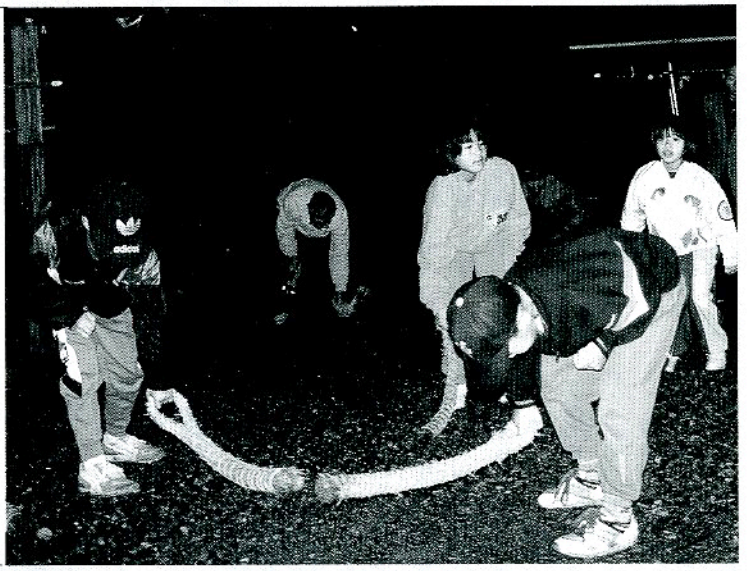
岩野草　坂本　雪絵
水郡の列車の座席にくつろげり一人一桝二時間の旅

"おいしかったね"



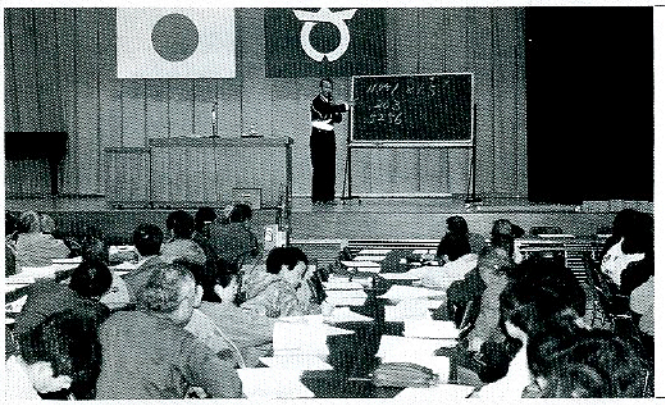
11月4日　西山児童館（児童二十一人）で、りんご狩りが行われました。須賀川市のあやめりんご園を訪れた児童たちは、たわわに実ったりんごを小さな手で枝から取り、早速蜜のいっぱい入ったあまいりんごをほおばり、秋の楽しい一日を過ごしました。

むじなっぱたき



11月14日　富田彦次郎地区の館山会（青戸代吉会長）で、恒例の「むじなっぱたき」が行われました。ミョウガの茎をしんにして藁を束ねた棒で地面をたたき、「むじなっぱたきのお祝いで貧乏神たたき出せ、福の神持ち込め」と、地区の子供たち九人が各家庭を回り、五穀豊穣と無病息災を祈願しました。

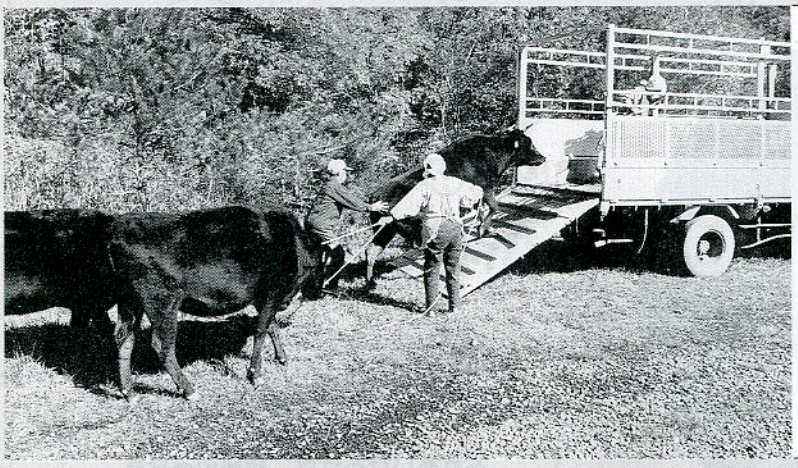
熱心に 交通安全講習会



11月17日　村交通対策協議会と交通安全協会鮫川支部主催の交通安全講習会が山村開発センターで開かれました。棚倉警察署交通係主任大野巡査部長を講師に迎え、映画「事故現場二十四時間」を見た後事故防止に関する講話があり、参加した百五十人の方々は、メモをとりながら熱心に聴き、交通安全の大切さを再認識しました。

フォトルポ・

牛も里帰り



11月1日　東白川地方四町村で運営している東野・戸草の公共牧場が閉牧しました。五月十九日から延べ百六十六日間放牧され、運動を十分にし、健康に育った肉用牛二十九頭、乳用牛三頭が、わが家へと帰りました。畜産経営の低コスト化を図るため、来年もぜひご利用ください。

村の部３位入賞！



11月21日　第五回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会が行われました。鮫川村チームは、五区で矢吹清美さん（自衛隊福島）、八区で舟木副善さん（鮫川中二年）、十二区で溝井武治さん（本田技研工業）が村の部の区間賞を獲得し、総合で昨年より一位アップの十九位、村の部では昨年に引き続き三位入賞を果し、堂々の成績をおさめました。大会まで激しい練習をかさねた選手の皆さん、役員のみなさん、ご苦労様でした。

ヤマメ二、五〇〇尾を放流



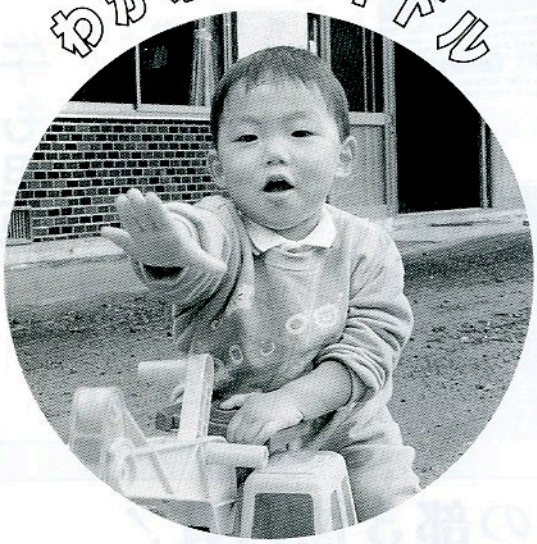
11月1日　鮫川流域内四十か所で、鮫川村水産資源保護協会と鮫川漁業協同組合によるヤマメの放流が行われました。体長二十cmに育った成魚百五十kg二千五百尾が放流され、来春までには体長が二十五cmくらいになる予定です。鮫川流域では毎年稚魚が一回、成魚が二回放流され、水産資源が保護されています。



ふれあいひろば

ふれあいひろばは、村民のみなさんに登場していただくページです。
2歳前後の〝お子さん〟と〝いろんな名人〟を紹介します。みなさんの意見、感想などもお寄せください。

わが家のアイドル



木之内優平くん

（平成3年12月3日生）
木之内喜代寿・まゆみさんの三男
（渡瀬字下）

絵本とお風呂とうどんが大好き！人見知りをしたことがなく、お客様も大好きです。
食欲旺盛で、お兄ちゃんとけんかしてもなかなか負けないわんぱくぼうずです。
（おかあさん）

名人登場

木工名人
佐藤孝之輔さん（73歳）
（赤坂中野字新宿）



機械を入れて本格的にはじめたのは、鮫川村に移住してからですのでまだ五年くらいです。
千葉県で保育所を経営していた頃「子どもたちに手づくりの良さ、あたたかさを知ってもらいたい」と思い、大工さんに材料の切れ端をもらって、羽子板や積み木などを作りはじめました。
鮫川村に住んでからは、鮫川保育所の子どもたちに、誕生月に写真フレームを作って贈っています。
杉、松……何でもあるものを利用しますので、材料を選びません。
雑誌を見たりして工夫していますが、審査は家内がしてくれます。
私の場合、作りたいから作るというだけで、下手の横好きといったところですね。

わたしたちの職場です 19



わたしたちの職場、有限会社関根軌道工業は、昭和44年８月に創業し、昭和55年４月に有限会社となりました。

線路の新設、増設、改良、補修が業務です。東北新幹線、東北本線の矢板～石橋間、日光線全線、水郡線全線の仕事をしています。

社員は45人で、うち２人が女性です。作業は４班にわかれて現場をもち、昼（午前９時～午後４時）、夜（午後10時～午前４時）の交替制で行っています。

仕事上、全員が顔を合わせることが少ない職場ですが、年１回の旅行や新年会、忘年会で親睦を図っています。

来年は、創業15周年となるので、夫婦同伴で海外旅行を計画しています。

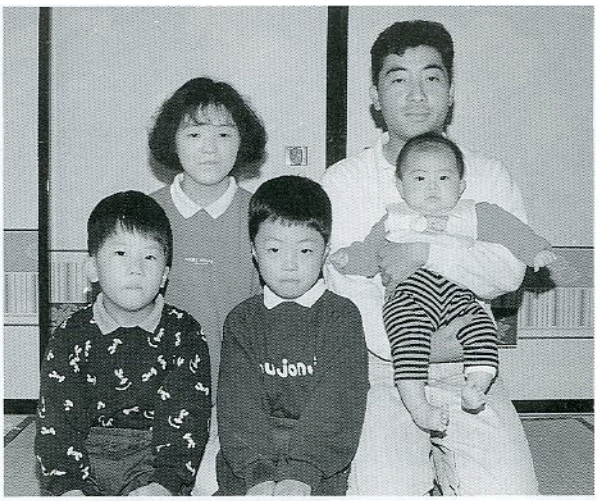
社員全員で安全会を組織して、事故のないように心がけ、時間との戦いの中で、安全第一をモットーに協力しあい、がんばっています。



有限会社　関根軌道工業

大字西山字水口1-1　☎49-3209

●●・ふたりでバトンタッチ～31・●●



関根　昭弘
♡ゆかりさん
（赤坂東野字戸草）

昭弘さんは、関根初吉さんの長男、ゆかりさんは、赤坂東野玉木幸次郎さんの二女で、昭和六十年三月十七日結婚式を挙げました。

昭弘さんは、ゆかりさんの二歳年上で、高校時代に交際が始まり、四年後にゴールインしました。

「結婚して八年も過ぎているので、どこにひかれたか忘れてしまった」と、テレながら話すおふたり。きっとアツアツだったでしょうね。

現在、長男和也くん（小二）、二男祐介くん（小一）、長女愛美ちゃん（七か月）の三人のお子さんに恵まれ、昭弘さんは、結婚を機に独立して始まったダンプ業を、ゆかりさんは、子育てに専念しています。

〝月並みだけど、家族全員が健康で、明るい家庭を築きたい〟というおふたりです。

いつまでもおしあわせに。

関根さんの紹介で

次は

萩原長治

♡

秀子

さんです。



年末年始交通事故防止県民総ぐるみ運動実施中

運動の重点
（1）シートベルト着用の徹底
（2）積雪・凍結時の交通事故防止
（3）飲酒運転・無謀運転の徹底追放
（4）子供と高齢者の交通事故防止
（5）違法駐車・迷惑駐車の追放

ゴミは収集日に出しましょう

収集場所	種別	12月	1月
江竜田～中野町～福原～田尻橋～反田～鍬木田～前沼～広畑～役場～鮫川保育所～農協前～農協倉庫～給食センター～道少田～教員住宅～伏木田～大塩コース	可燃物	2.6.9.13 16.20.27	6.10.13.17 20.24.27.31
	不燃物	10.24	14.28
さぎり荘～村営住宅コース	可燃物	2.6.9.13 16.20.27	6.10.13.17 20.24.27.31
	不燃物	8.22	12.26
鮫川分校（可燃物木曜のみ）～鮫川中学校コース	可燃物	2.6.9.13 16.20.27	6.10.13.17 20.24.27.31
	不燃物	9	13.27
関下～越虫～丸谷地～赤小名入口～青生野小学校～世々麦～葉貫～戸草～蕨ノ草～中沢入口～中沢～関口コース	可燃物	1.8.15.22	5.12.19.26
	不燃物	8.22	12.26
真坂～寅卯平～西部集落センター～茅～本坂～洞垂～滑石～塚本～塩倉～荻ノ沢～折戸～宝木～水口～落合～官沢コース	可燃物	1.8.15.22	5.12.19.26
	不燃物	9	13.27
官代～稱久保～遠ケ竜～大石草～大根屋敷～内ケ竜コース	可燃物	1.8.15.22	5.12.19.26
	不燃物	10.24	14.28
石井草～前田～大久保～鬼越～戸倉～赤柴～菅田～大沢入口～余所内～沼野沢～岩野草～鍛治平～薄ケ久保コース	可燃物	1.8.15.22	5.12.19.26
	不燃物	17	21

心配ごと相談

12月20日（月）
午前10時～午後3時
山村開発センター

＝あとがき＝

♥私が中学生の頃、こんなに村の将来を考えたことがなかったように思います♥お父さん、お母さんは鮫川村が好きですか？子どもたちがこんなに鮫川村が好きで、自然の豊かさを誇りに思っていることを知っていましたか♥現在の中・高校生が、十年後鮫川村に住んでいるか。そういうことを考えながら生活していきたいですね。こたつに入り、みかんでも食べながら、ぜひお子さんと話しあってみては。

今月の人口

（11月1日現在）

（人口）	（男）	（女）	（世帯）
5,203人	2,570人	2,633人	1,131戸
（－7）	（－6）	（－1）	（＋1）

こちら窓口

お誕生おめでとうございます

住所	赤ちゃんの名前	月/日	保護者
余所内	関根 祥子	10/16	関根 正男
前沼	青戸可奈子	10/25	青戸 正彦
戸倉	関根優華	10/29	関根 勝士
道少田	生方 一真	11/4	生方 浩志
鍬木田	神原 恭介	11/8	神原 和夫
前田	金澤 健吾	11/8	金澤 幸男

10/21から11/20までの届出

青生野	笹島 梓	11/12	笹島 幸男

おくやみ申し上げます

住所	亡くなられた方	年齢	世帯主
大平	関根 光雄	84	関根 清
鍬木田	松本 直春	78	松本 克己

今月の納付

村県民税
国民年金保険料
納期限
4期分
12月分
12月27日

休日のお医者さん

月日（曜）	棚倉町	塙町	石川町
12月12日(日)	和田医院	—	大野診療所
19日(日)	勝田医院	石川医院	鹿島産婦人科医院
23日(木)	大木医院	—	大竹眼科医院
26日(日)	大木医院	—	中島病院
29日(水)	—	—	大野病院
30日(木)	—	—	石川中央医院
31日(金)	—	—	務川医院
1月1日(土)	東白川中央病院	中島医院	大野病院
2日(日)	藤田医院	車田病院	—
3日(月)	あらまちクリニック	根本整形	田中内科医院